

2023年3月5日作成

コミュニティひばり地区防災推進委員会ペット同行避難訓練 講義記録

講義： ペットの災害対策について

講師： 大坪 幸司 氏（兵庫県動物愛護センター）

日時： 2023年2月19日（日）10：40～11：40

場所： ふじが丘自治会館

出席者： 訓練参加者と聴講者 計14名 兵庫県動物愛護センター3名

配布資料： 講義レジュメ、環境省パンフレット「ペットも守ろう！防災対策」
防災パネルデータ 5種

講義要旨

【1】動物救護活動が行われた過去の災害

1995年阪神淡路大震災、2000年有珠山噴火、2004年中越地震、2007年中越沖地震、
2011年東日本大震災、2016年熊本地震 など

例1) 阪神淡路大震災（マグニチュード7.3 震度7）

- ・被災動物 犬：約4300頭、猫：約5000頭
- ・避難場所：人（飼い主）は体育館、ペットは外だった。

例2) 東日本大震災（マグニチュード9 震度7）

- ・被災動物 犬：約17000頭、猫：約15000頭
- ・原発事故のため警戒区域外にペットを連れだせなかったため、家に係留したまま死亡したり、逃亡して放浪犬となった事例もあった。
- ・計画的避難区域では保護活動
⇒自治体職員が実施
福島では番犬スタイルでの飼い犬が多く、人慣れしていないため保護が難しかった。
- ・工場跡地にシェルターを作ったが、熱中症（人も）、ペット間の感染症が問題となった。
- ・ペットが無事でも飼い主が飼えないケースも多く、ペットの一時預かりや所有権を放棄しての譲渡が行なわれた。

【2】自助、共助、公助

- ・自助：家族、ペットの身は自分で守ること。
- ・共助：近隣・地域などが協力して助け合う。
- ・公助：自治体、警察、消防、自衛隊など公的機関による救助や援助。

※大切なのは自助。共助。大災害では公助は遅くなる。

【3】 ペットの同行避難とは

- ・災害発生時に飼い主が飼養しているペットと共に避難場所まで安全に避難すること。
- ・避難所でペットと同居する『同伴避難』とは違う。
- ・ペットの安全確保⇒ペットを放さない。
住民の安全、公衆衛生の悪化防止。避妊去勢していないと増えてしまう。
- ・二次被害の防止
いったん避難した人がペットを連れに戻って二次被害にあう。
⇒本来の救命救急活動に支障をきたす。

【4】 災害が起きたら

災害が起きたら、迷わずペットと避難！

- ・まずは「人の安全」が第一。⇒人が無事でないとペットを助けられない。
- ・次に落ち着いてペットの安全確保に努める。
- ・ペットと一緒に避難。
⇒はぐれたら見つかりにくい。首輪、リード、クレートの戸締りを確認。
- ・避難経路は瓦礫など足元注意。⇒避難経路は平常時にチェックしておく。

【5】 避難所での注意点

- ・避難所にはいろいろな方が避難している。⇒動物が嫌いな人、アレルギーの人もある。
- ・ペットは人が避難する場所とは別の場所での管理⇒短期間でも動物にストレス。
- ・避難所は決してリラックスできる場所ではない（人もペットも）。

【6】 長期の避難に備えて

- ・ペットを預かってもらえる人を探しておく。
⇒近隣に1か所、遠方（被災地外）に1か所。

【7】 避難に備えて

- ・災害時には家族の荷物以外にペットの荷物も必要。⇒中型犬1頭分で5.8kgだった。
優先順位1 命にかかわるもの
薬、フード、水、食器、予備の首輪、リード、ガムテープ、油性ペンなど
優先順位2 飼い主とペットの情報がわかるもの
飼い主の情報、動物の写真、既往歴、かかりつけの動物病院など
優先順位3 余裕があれば持っていくもの
ブラシ、トイレ用品、タオル、おもちゃ等
- ・所有者明示（鑑札、迷子札など）

- ・トレーニング
 - 基本的なしつけ、トレーニング
 - クレートトレーニング
 - ⇒日ごろからクレートに慣れていないと、クレートに入らなかつたり壊したりする。
- ・狂犬病予防接種
 - 狂犬病予防接種をしていないと受け入れてもらえない避難所がほとんど。
 - 日頃から狂犬病予防接種済票を首輪に装着しておく。
- ・ノミ、ダニの駆除
- ・情報共有
 - 家族が外にいるかもしれないので、災害が起こったら待ち合わせ場所、連絡方法など、どうするか決めておく。

【8】受付表

避難所で記入すると受付が混雑するので、あらかじめ記入して持ってくる方が良い。

【9】避難所での注意

- ・ガムテープに「さわらないで」などと書いてクレートに貼る。
 - ⇒非常事態下では犬の状態も平常時とは違う。知らない人が勝手に触ろうとして噛まれることがあった。普段おとなしい犬でも「さわらないで」の表示を。

【10】マイクロチップ

- ・直径2mm×長さ12mmほどのマイクロチップを首の後ろ辺りの皮下に装着。
- ・一度装着すれば交換不要。
- ・ペットと飼い主が離れてしまっても、マイクロチップを読み取って情報登録機関に問い合わせると飼い主の情報がわかる。ペットの譲渡など所有者が変わったときは変更登録を。
- ・様々な価値観があるが、逃げたときのメリットが大きいので装着を考えてほしい。

質疑応答

質問1) 避難物品は何日分持っていけばよいか？

⇒回答) 5日分。水は避難所に比較的早く届くといわれているが、ペットボトルに入れて持っていくておく。

質問2) 犬猫でなく、鳥やウサギなどの動物はどうするか？

⇒回答) 異種動物間で感染する病気は少ないが、できるなら鳥部屋、犬猫部屋など種別で分けた方がよい。